

(一社)日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 37 回 LLW 埋施設設検査方法分科会議事録 (案)

1. 日 時 : 2022 年 10 月 31 日 (月) 13 : 30 ~ 14 : 40
2. 場 所 : Webex による WEB 会議
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 河西主査, 高尾副主査, 山田幹事, 千々松, 山本 (正), 枝松, 田坂, 仲田, 鈴木 (健), 辻家, 高崎, 高橋 (鈴木 (覚) 委員代理)
(12 名)
(欠席委員) 梅原, 久田, 工藤, 山本 (修) (4 名)
(常時参加者) 関口, 斉藤, 山岡 (3 名)
(欠席常時参加者) 大畑, 北原 (2 名)
4. 資 料
F15SC37-1 第 37 回 LLW 埋施設設検査方法分科会議事次第
F15SC37-2 人事について (LLW 埋施設設検査方法分科会)
F15SC37-3 第 36 回 LLW 埋施設設検査方法分科会議事録 (案)
F15SC37-4-1 専門部会決議投票結果 (FTC22-03_報告資料)
F15SC37-4-2 専門部会決議投票のコメント整理表
F15SC37-4-3 改定案比較 (履歴付き)
F15SC37-5 専門部会向け説明用資料
参考資料 1 標準策定 5 か年計画更新の作業依頼文 (2023 年度)
参考資料 2 原子燃料サイクル専門部会 標準策定 5 か年計画 (2023 年度版 案)
参考資料 3 新知見評価表 (2022 年度版)

5. 議事

(1) 出席者及び資料確認

山田幹事から, 分科会成立に必要な委員数 (11 名以上) を満たしている旨の報告があった。また, 山田幹事から第 37 回分科会の配布資料の確認を行った。

(2) 人事案件

山田幹事から, F15SC37-2 に基づき人事の説明があった。過去に手続き漏れのあった常時参加者 4 名 (黒沢, 東原, 南, 村松) の登録解除及び関口常時参加者の所属変更 (日本原燃 → 戸田建設) が報告された。なお, F15SC37-2 において常時参加者の所属変更が決議・承認事項となっているが報告事項の誤りのため修正版を後ほど配布する。

(3) 前回議事録の確認

山田幹事から, F15SC36-3 に基づき, 第 36 回分科会の議事録案について紹介され, コメントは無く承認された。

(4) 標準委員会中間報告の意見募集結果について

F15SC37-4-1からF15SC37-4-3に基づき山田幹事及び斉藤常時参加者から、原子燃料サイクル専門部会の決議投票コメント対応及び今後の工程について説明が行われた。主な質疑は次のとおり。

- ・本日午前中にF15SC37-4-2のコメント対応表の内容を高橋専門部会長へ説明、コメントNo. 2及び16について修正案を作成して提示することとなっている。(斉藤常時参加者)
⇒コメントNo. 2について、部会長コメントを反映して機器・配管等の漏出防止と許可基準規則第4条を関連付けるとのことだが、許可基準規則第4条は直接的に機器・配管等の漏出防止を記載した条文ではなく、記載の仕方を検討する必要がある。(関口常時参加者)
⇒拝承。記載案について、意見をいただきたい。(斉藤常時参加者)
- ・この資料の位置付けと今後のスケジュールを再度説明してもらいたい。(河西主査)
⇒F15SC37-4-3の標準改定案は、コメント対応表の反映途中段階であり、F15SC37-4-2の表で“済”となっている項目は標準改定案へ内容が反映されたもので、“済”となっているものを各委員で確認いただきコメントがあれば連絡いただきたい。また、標準改定案へのコメント反映が完了した段階で、再度各委員へ送付する。コメント者の田村専門部会委員への確認の打ち合わせを11月4日に予定しており、その後コメント反映が完了する予定。その資料を基に11月9日の専門部会資料とする。(山田幹事)
⇒今後の進め方について、コメント対応表に沿って修正を進め、11月9日の専門部会にて決議投票コメント対応結果として説明するという方針について、委員の了承をいただきたい。(河西主査)
⇒本日出席の全委員が挙手により了承していることを確認した。(山田幹事)
⇒委員の了解が得られたので、この方針に沿って進める。(河西主査)

(5) 専門部会向け説明用資料について

F15SC37-5に基づき斉藤常時参加者から専門部会の決議投票コメント対応報告資料案について説明が行われた。主な質疑は次のとおり。

- ・この資料は次回の専門部会向け資料で、前回専門部会資料と内容はほとんど変わっていないという理解でよい。(河西主査)
⇒そのとおりで、変更点は1.の記載が見直したことのみにある。(斉藤常時参加者)

(6) その他

- ・標準策定5か年計画の策定依頼について山田幹事から紹介があり、5か年計画の内容及び新知見の有無について別途検討依頼をする旨の連絡があった。

以上